

水防訓練の実施

千代田区・第一消防方面合同総合水防訓練を実施し、地下鉄浸水防止工法・積土のう工法等の実演を行った。



水害に関する防災意識の高揚および知識の向上

○令和7年度中央区・消防合同水防訓練において「パネル展示」や「土のう作り体験」、「VR体験車」を実施。

パネル展示内容

大雨対策リーフレット

家でできる！大雨対策

自宅周辺の確認

建物周りの排水溝や雨どいを確認し、落ち葉などを清掃しましょう。道路上の雨水まますを確認し、詰まっていたら区にご連絡ください。庭やベランダにある筒ばされそのな物は固定し、家の中へ格納してください。屋根瓦・外壁の状態を確認し、必要に応じて専門業者に早めの依頼をしてください。

土のうの準備

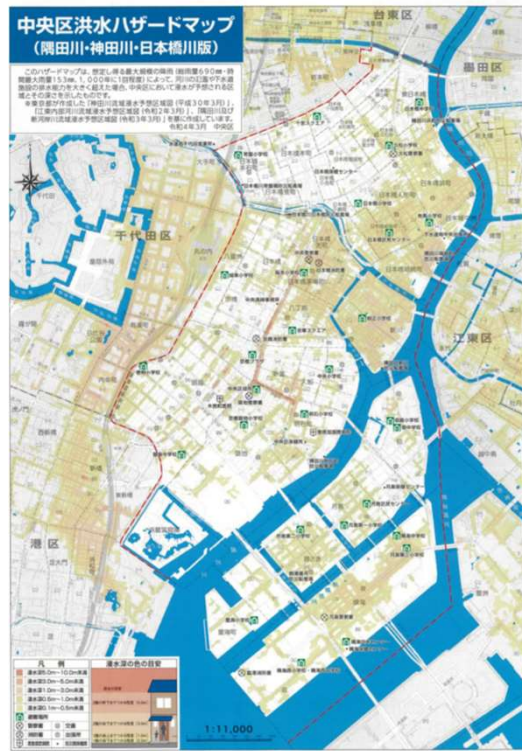
【土のうの作り方】大きなポリ袋に水を入れて口を縛ると土のうの代わりになり、段ボールと併用すると扱いやすくなります。

防災用品の備蓄

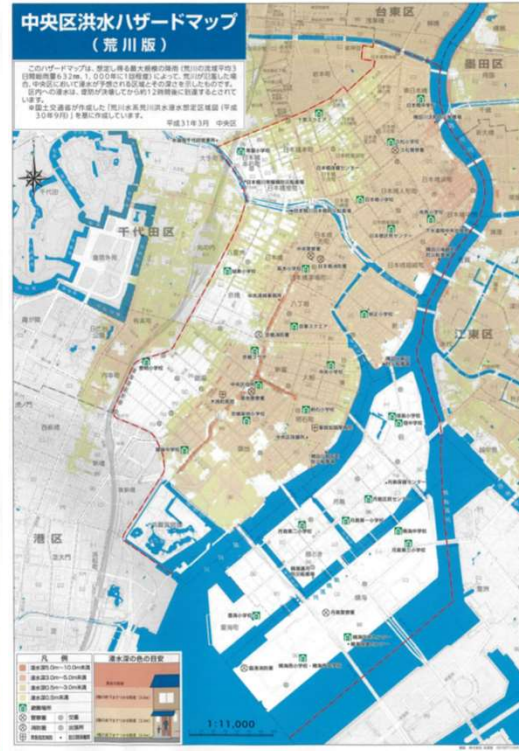
停電や避難に備えて、水・食料・携帯トイレなどの備蓄や、非常用持出袋を準備しましょう。

【停電に備えた備蓄】	【非常用持出袋の内容例】	【携帯用充電器・予備バッテリー】
■ 食料・飲料水	■ 食料・飲料水	■ マスク・手指消毒薬
■ 懐中電灯・ランタン	■ 貴重品（現金・通帳・身分証）	■ 主理理用品・常備薬・お薬手帳
■ 携帯ラジオ・予備電池	■ 洗面用具	■ 粉ミルク等（必要な方のみ）
■ 予備バッテリー	■ 着替え	
■ 携帯トイレ	■ 懐中電灯・ランタン	
■ カセットコンロ	■ 携帯ラジオ	

ハザードマップ1

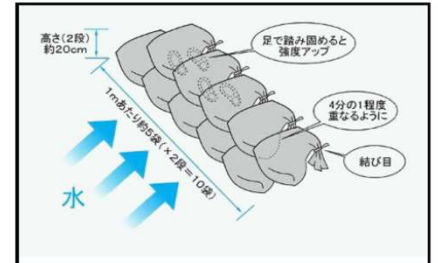


ハザードマップ2



土のう作り体験コーナー

土のう作り体験コーナー



【土のうの積み方のポイント】

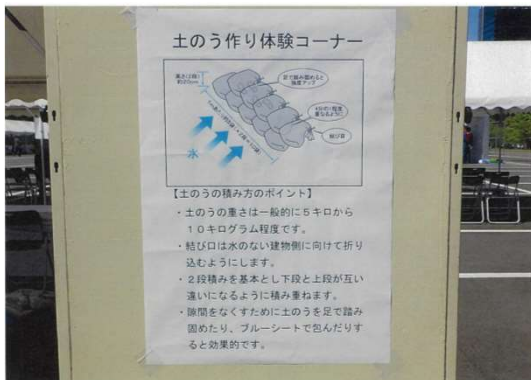
- ・土のうの重さは一般的に5キログラムから10キログラム程度です。
- ・結び目は水のない建物側に向けて折込むようにします。
- ・2段積みを基本とし下段と上段が互い違いになるように積み重ねます。
- ・隙間をなくすために土のうを足で踏み固めたり、ブルーシートで包んだりすると効果的です。

水害に関する防災意識の高揚および知識の向上

○令和7年度中央区・消防合同水防訓練において「パネル展示」や「土のう作り体験」、「VR体験車」を実施。

状況写真

パネル展示



土のう作り体験



VR体験車



古川水位基準値の見直し

概要

古川沿いに設置している水位計の基準値（観測値）を4段階にレベル分けし、河川沿いの防災行政無線や防災ラジオから注意情報や避難情報を発報しています。今年度、平成27年度以来見直していない水位基準値の見直しを行いました。

課題

- 防災情報メール等での水位情報の発報タイミングと内容の都との差異により、区民にとってわかりにくくなっている
- 古川地下調節地への流入が考慮されていない



港区水位計（白金公園）

今後

- 区の水位観測所の立ち位置を整理
- 古川地下調節池への流入量を踏まえた発報タイミングの検討
- 近年の気象状況を考慮した放送内容の見直し



古川 増水時（白金）